

令和 7 年度 第 5 回筑後川水系渇水調整連絡会 幹事会

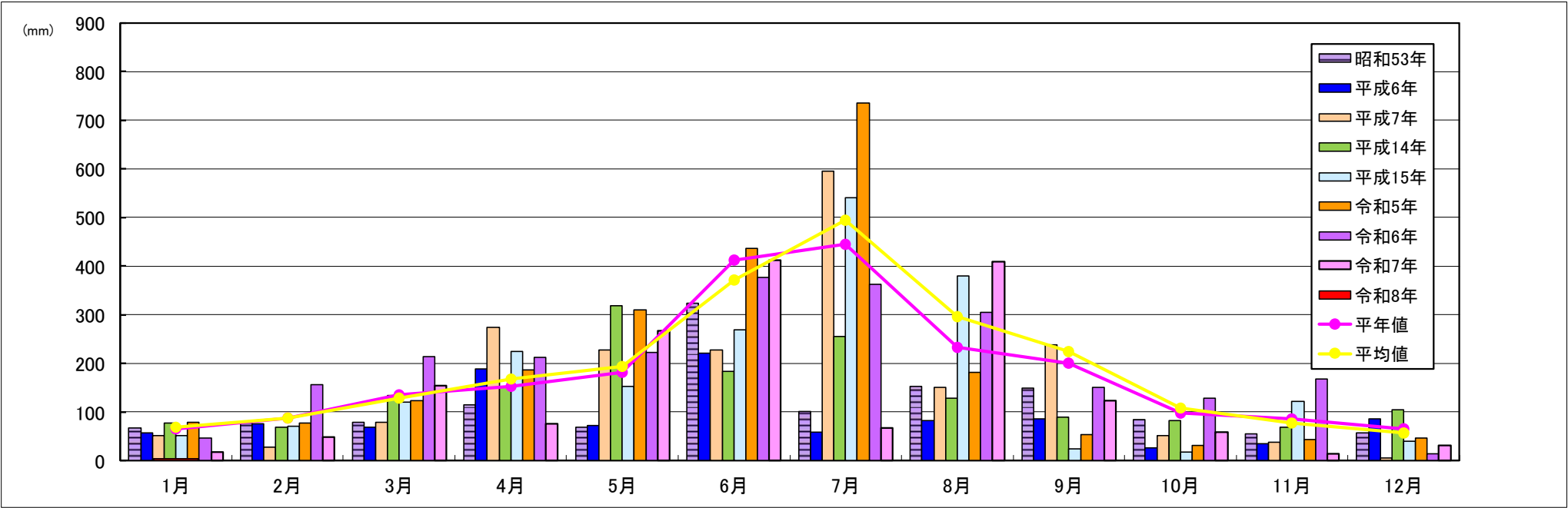
# 筑後川の水状況について

---

令和 8 年 1 月 15 日

筑後川水系渇水調整連絡会  
事務局

筑後川(瀬ノ下上流域)平均月別雨量図



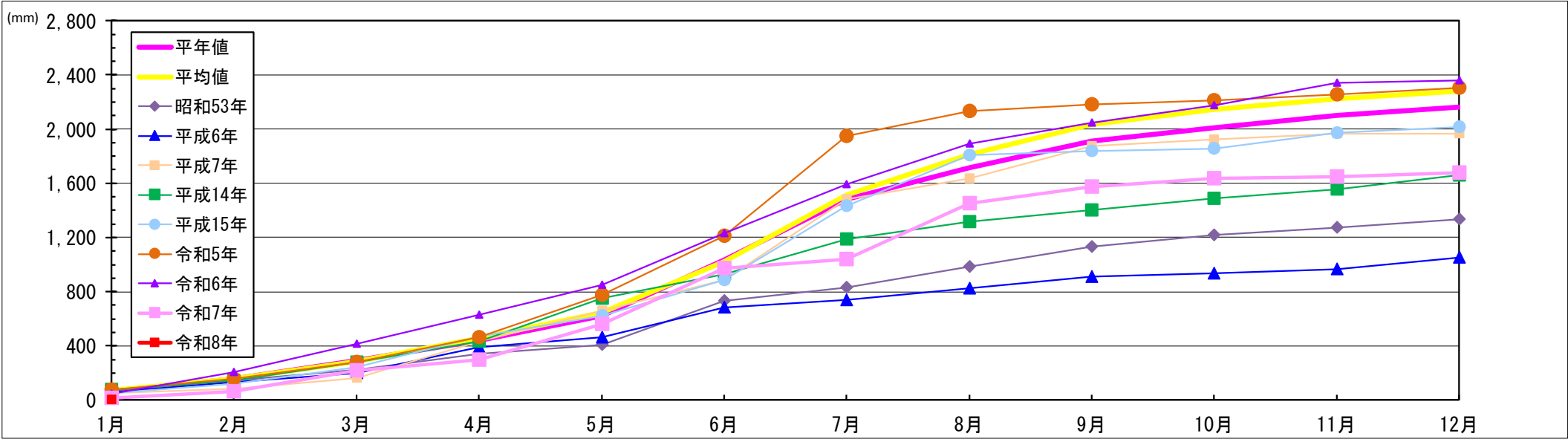
単位:ミリ													
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年値	66.2	87.9	134.7	152.9	181.5	412.5	445.1	232.6	201.3	98.0	86.6	65.4	2,164.8
平均値	69.7	87.5	129.5	168.1	194.3	371.2	495.1	296.5	224.5	108.8	77.4	57.3	2,228.2
昭和53年	68.0	76.9	78.9	115.1	68.2	323.2	102.0	152.3	150.1	84.0	55.6	57.4	1,331.7
(平年比)	102.8%	87.5%	58.6%	75.3%	37.6%	78.4%	22.9%	65.5%	74.6%	85.7%	64.2%	87.7%	61.5%
平成6年	56.6	75.4	68.5	188.7	72.8	220.3	58.3	82.1	86.2	26.3	34.3	85.5	1,055.0
(平年比)	85.6%	85.8%	50.8%	123.4%	40.1%	53.4%	13.1%	35.3%	42.8%	26.8%	39.6%	130.6%	48.7%
平成7年	51.5	28.7	79.3	273.9	228.6	227.4	594.8	150.5	238.9	52.1	38.3	5.7	1,969.7
(平年比)	77.9%	32.6%	58.9%	179.2%	126.0%	55.1%	133.6%	64.7%	118.7%	53.1%	44.2%	8.7%	91.0%
平成14年	77.6	68.7	133.6	150.7	319.0	182.8	254.4	128.0	89.6	81.9	69.5	104.8	1,660.6
(平年比)	117.3%	78.1%	99.2%	98.6%	175.8%	44.3%	57.2%	55.0%	44.5%	83.5%	80.2%	160.1%	76.7%
平成15年	52.4	70.0	121.0	225.0	152.0	269.0	541.0	380.0	25.0	18.0	122.0	40.0	2,015.5
(平年比)	79.2%	79.6%	89.8%	147.2%	83.8%	65.2%	121.5%	163.4%	12.4%	18.4%	140.8%	61.1%	93.1%
令和5年	78.4	77.0	123.7	187.1	310.3	436.4	735.3	182.3	53.3	30.6	43.8	46.3	2,304.5
(平年比)	118.5%	87.6%	91.8%	122.4%	171.0%	105.8%	165.2%	78.4%	26.5%	31.2%	50.6%	70.7%	106.5%
令和6年	46.1	156.6	213.4	212.0	223.2	376.7	362.3	304.5	151.6	129.2	168.4	14.6	2,358.6
(平年比)	67.8%	203.6%	270.5%	184.2%	327.3%	116.6%	355.2%	199.9%	101.0%	153.8%	302.9%	25.4%	109.0%
令和7年	18.1	48.6	154.0	75.2	266.6	412.0	66.7	409.6	123.5	59.3	14.5	31.3	1,679.4
(平年比)	27.4%	55.3%	114.3%	49.2%	146.9%	99.9%	15.0%	176.1%	61.3%	60.5%	16.7%	47.8%	77.6%
令和8年	3.4												3.4
(平年比)	5.0%												0.3%

※平年値は、1991～2020年(30年間)の平均値

平均値は2015～2024(直近10年)の平均値

※九州地方整備局調べ

筑後川(瀬ノ下上流域)平均累加雨量図



単位:ミリ

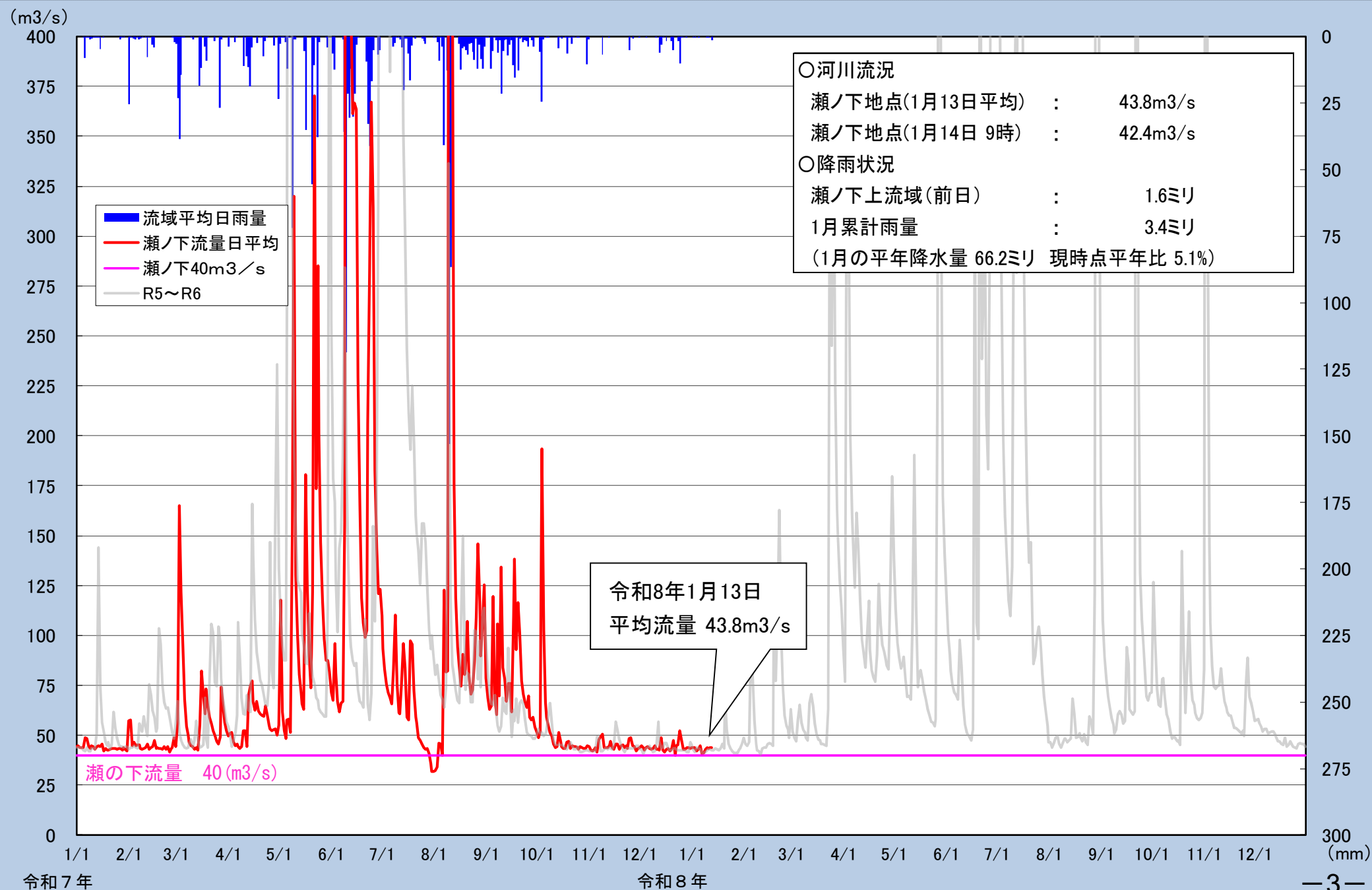
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年値	66.2	154.1	288.8	441.7	623.1	1,035.6	1,480.7	1,713.3	1,914.7	2,012.7	2,099.3	2,164.8	2,164.8
平均値	69.7	157.2	286.7	454.8	649.1	1,020.3	1,515.4	1,811.9	2,036.4	2,145.2	2,222.6	2,279.9	2,279.9
昭和53年	68.0	144.9	223.8	338.9	407.1	730.3	832.3	984.6	1,134.7	1,218.7	1,274.3	1,331.7	1,331.7
(平年比)	102.8%	94.1%	77.5%	76.7%	65.3%	70.5%	56.2%	57.5%	59.3%	60.6%	60.7%	61.5%	61.5%
平成6年	56.6	132.0	200.5	389.2	462.0	682.3	740.6	822.7	908.9	935.2	969.5	1,055.0	1,055.0
(平年比)	85.6%	85.7%	69.4%	88.1%	74.1%	65.9%	50.0%	48.0%	47.5%	46.5%	46.2%	48.7%	48.7%
平成7年	51.5	80.2	159.5	433.4	662.0	889.4	1,484.2	1,634.7	1,873.6	1,925.7	1,964.0	1,969.7	1,969.7
(平年比)	77.9%	52.1%	55.2%	98.1%	106.2%	85.9%	100.2%	95.4%	97.9%	95.7%	93.6%	91.0%	91.0%
平成14年	77.6	146.3	279.9	430.6	749.6	932.4	1,186.8	1,314.8	1,404.4	1,486.3	1,555.8	1,660.6	1,660.6
(平年比)	117.3%	95.0%	96.9%	97.5%	120.3%	90.0%	80.1%	76.7%	73.3%	73.8%	74.1%	76.7%	76.7%
平成15年	52.4	122.4	243.4	468.4	620.4	889.4	1,430.4	1,810.4	1,835.4	1,853.4	1,975.4	2,015.4	2,015.4
(平年比)	79.2%	79.4%	84.3%	106.1%	99.6%	85.9%	96.6%	105.7%	95.9%	92.1%	94.1%	93.1%	93.1%
令和5年	78.4	155.4	279.1	466.2	776.5	1,212.9	1,948.2	2,130.5	2,183.8	2,214.4	2,258.2	2,304.5	2,304.5
(平年比)	118.5%	100.9%	96.6%	105.6%	124.6%	117.1%	131.6%	124.3%	114.1%	110.0%	107.6%	106.5%	106.5%
令和6年	46.1	202.7	416.1	628.1	851.3	1,228.0	1,590.3	1,894.8	2,046.4	2,175.6	2,344.0	2,358.6	2,358.6
(平年比)	69.7%	131.6%	144.1%	142.2%	136.6%	118.6%	107.4%	110.6%	106.9%	108.1%	111.7%	109.0%	109.0%
令和7年	18.1	66.7	220.7	295.9	562.5	974.5	1,041.2	1,450.8	1,574.3	1,633.6	1,648.1	1,679.4	1,679.4
(平年比)	27.4%	43.3%	76.4%	67.0%	90.3%	94.1%	70.3%	84.7%	82.2%	81.2%	78.5%	77.6%	77.6%
令和8年	3.4												3.4
(平年比)	5.0%												0.3%

※平年値は、1991～2020年(30年間)の平均値

平均値は2015～2024(直近10年)の平均値

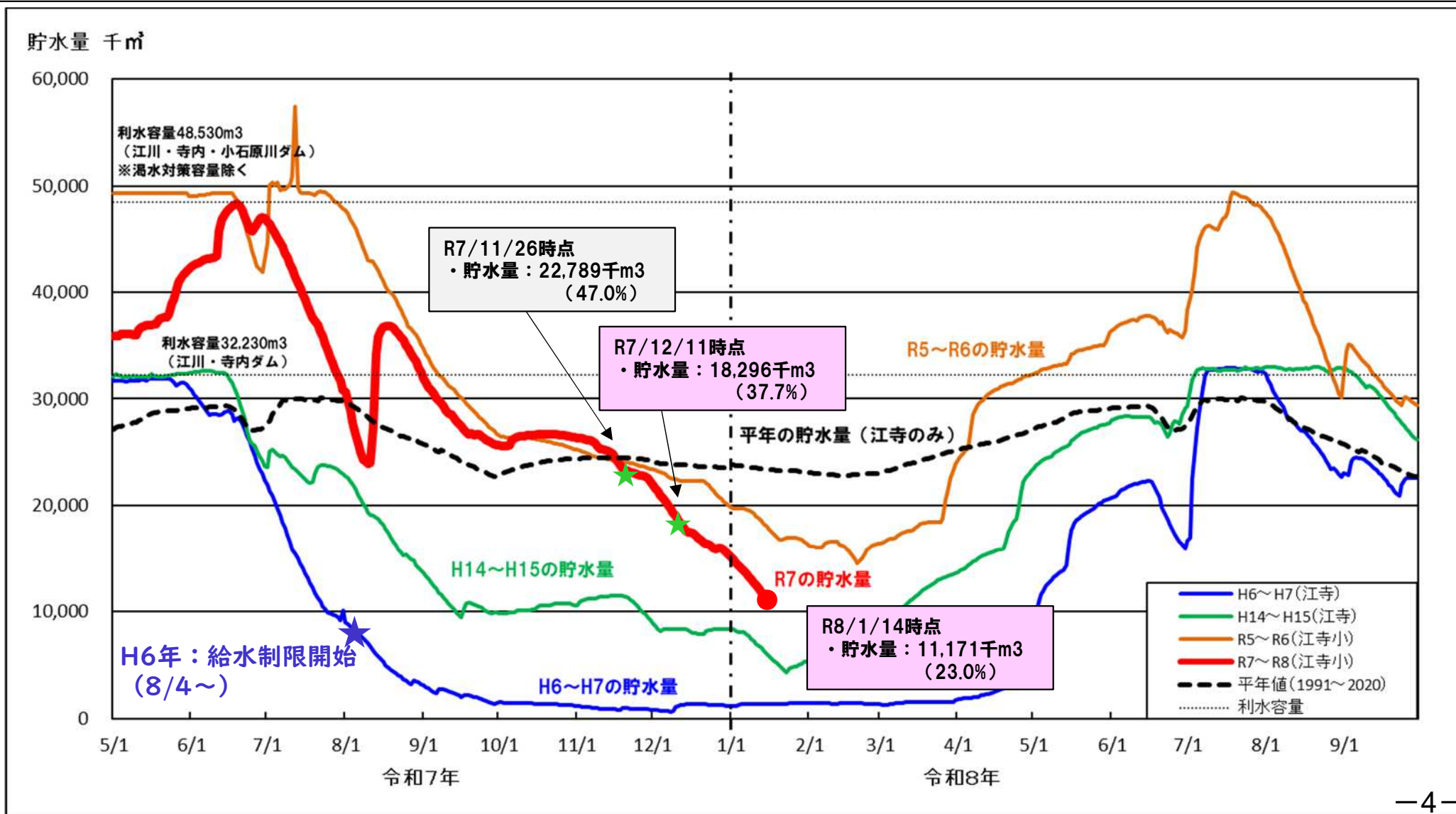
※九州地方整備局調べ

# 瀬ノ下日平均流量・瀬ノ下上流域平均雨量（速報値）

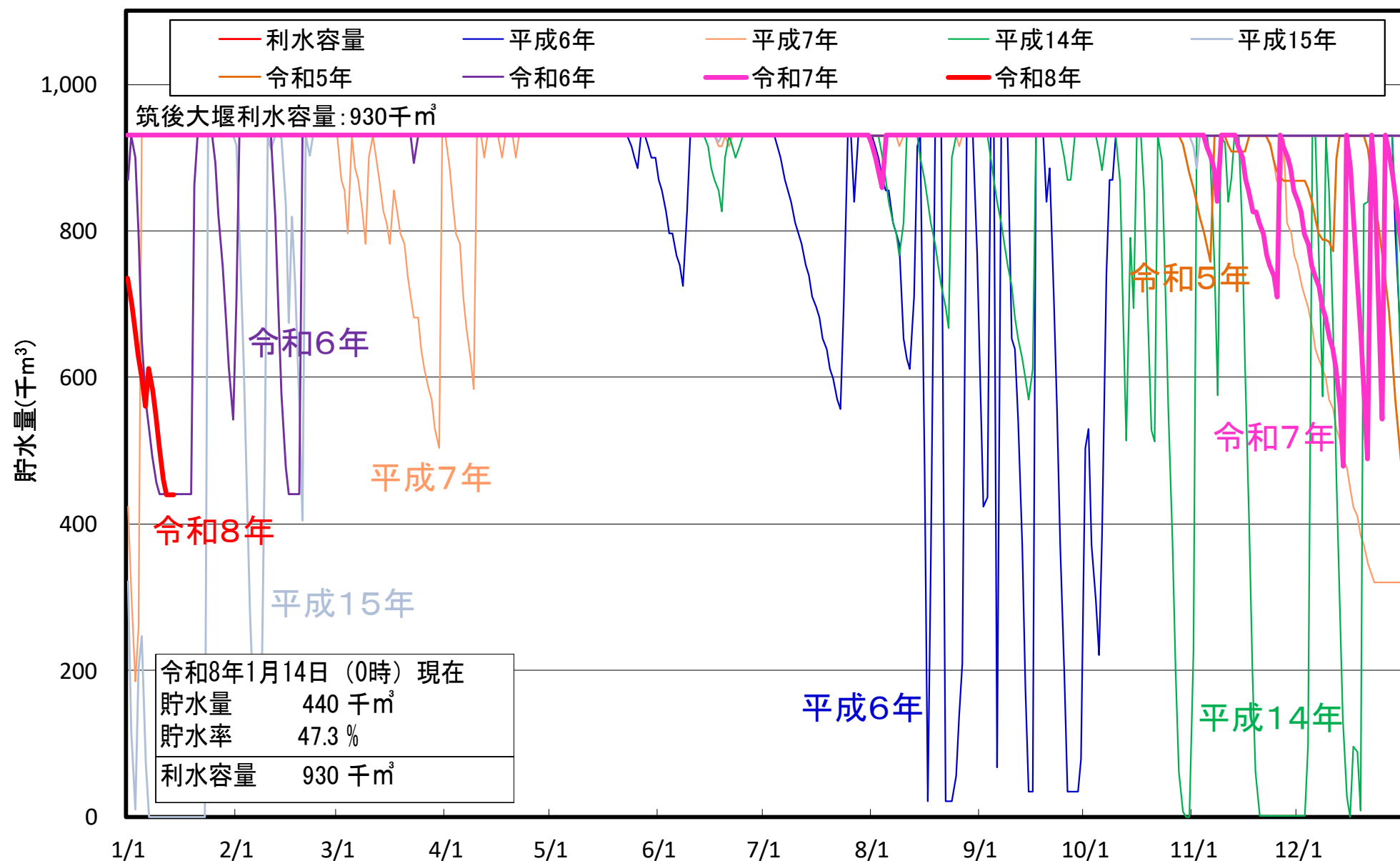


# 筑後川の水源地の状況

- 筑後川の流況は減少傾向。都市用水等の利用のため、ダムから断続的に補給。
- 同時期の朝倉3ダムの貯水率は、過去最低。（小石原川ダム運用開始後）
- 朝倉3ダムをはじめ、筑後川水系6施設は今後まとまった降雨がなければ貯水量がさらに減少することを想定。



# 筑後大堰貯水量

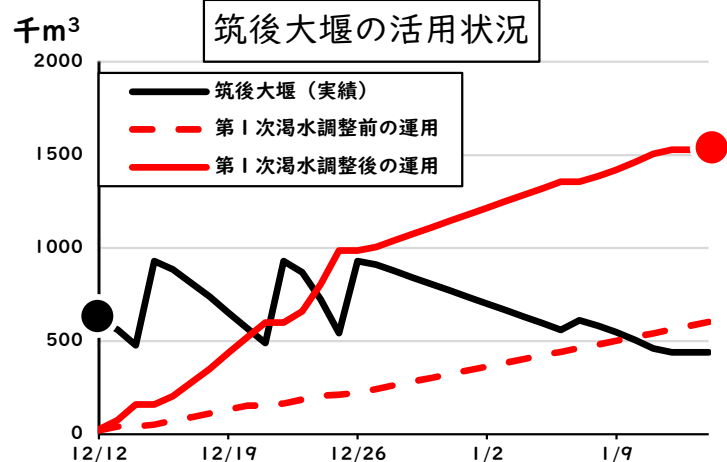


# 6 施設統合運用による効果

- 令和7年12月11日の筑後川水系渇水調整連絡会で第1次渇水調整事項を合意。
- 6施設統合運用による筑後大堰先使いにより、他の5施設において約90万m<sup>3</sup>分の延命効果があったと推定。

R7/12/11 <第1次渇水調整>

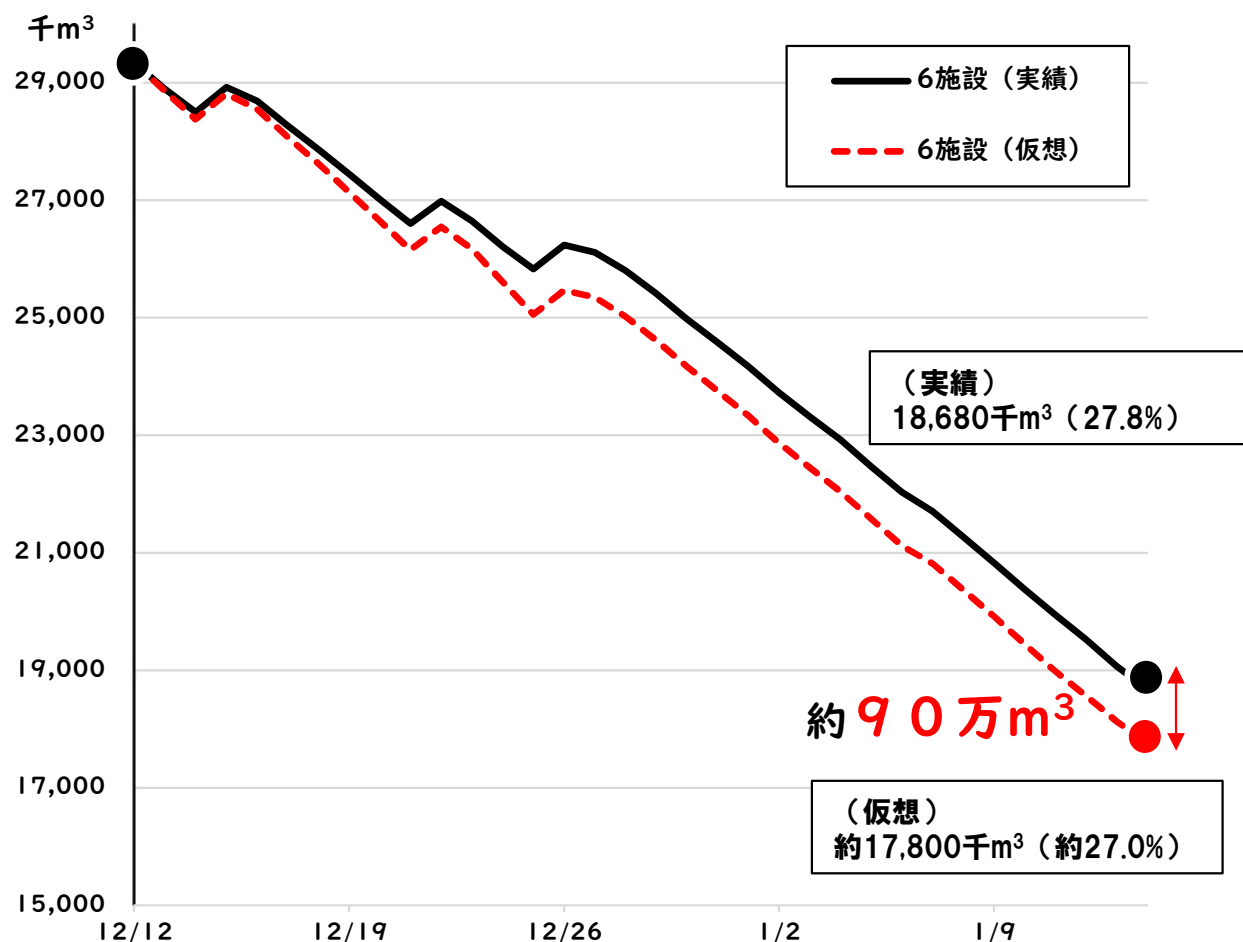
1. 福岡県及び佐賀県は、水道事業者等に対し自主節水及び更なる域内水源の活用について促す。
2. ダムの補給水を効率的に活用するため、福岡地区水道企業団、福岡県南広域水道企業団及び佐賀東部水道企業団は、江川ダム、寺内ダム、筑後大堰、合所ダム、大山ダム、小石原川ダムの貯留水の統合運用を行う。
3. 関係機関は、筑後川に係る水の利用者に対して、節水についての啓発活動を行う。



筑後大堰の活用は、  
約90万m<sup>3</sup>

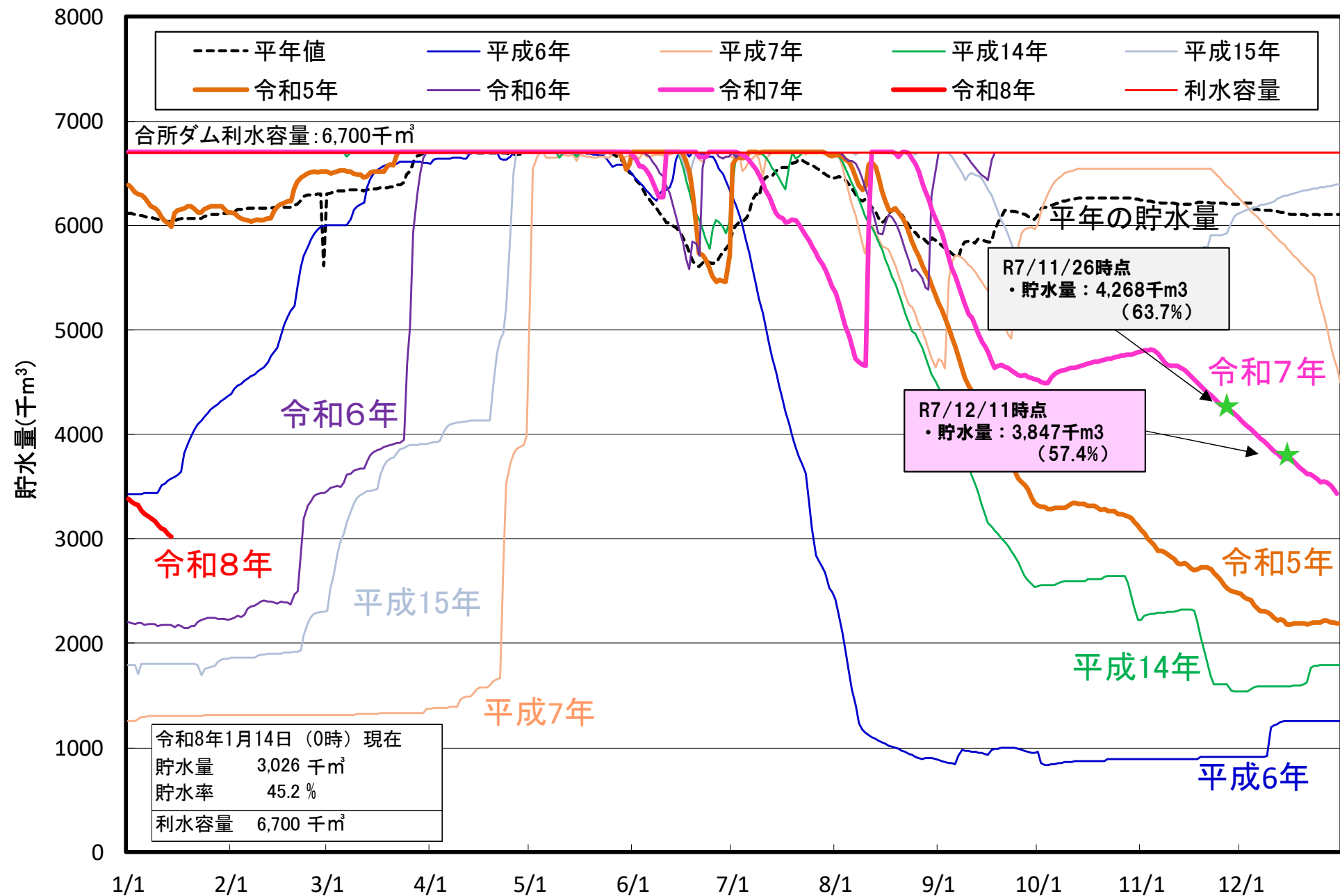
※R7/12/12~R8/1/14

主要6施設統合運用の効果 (イメージ)



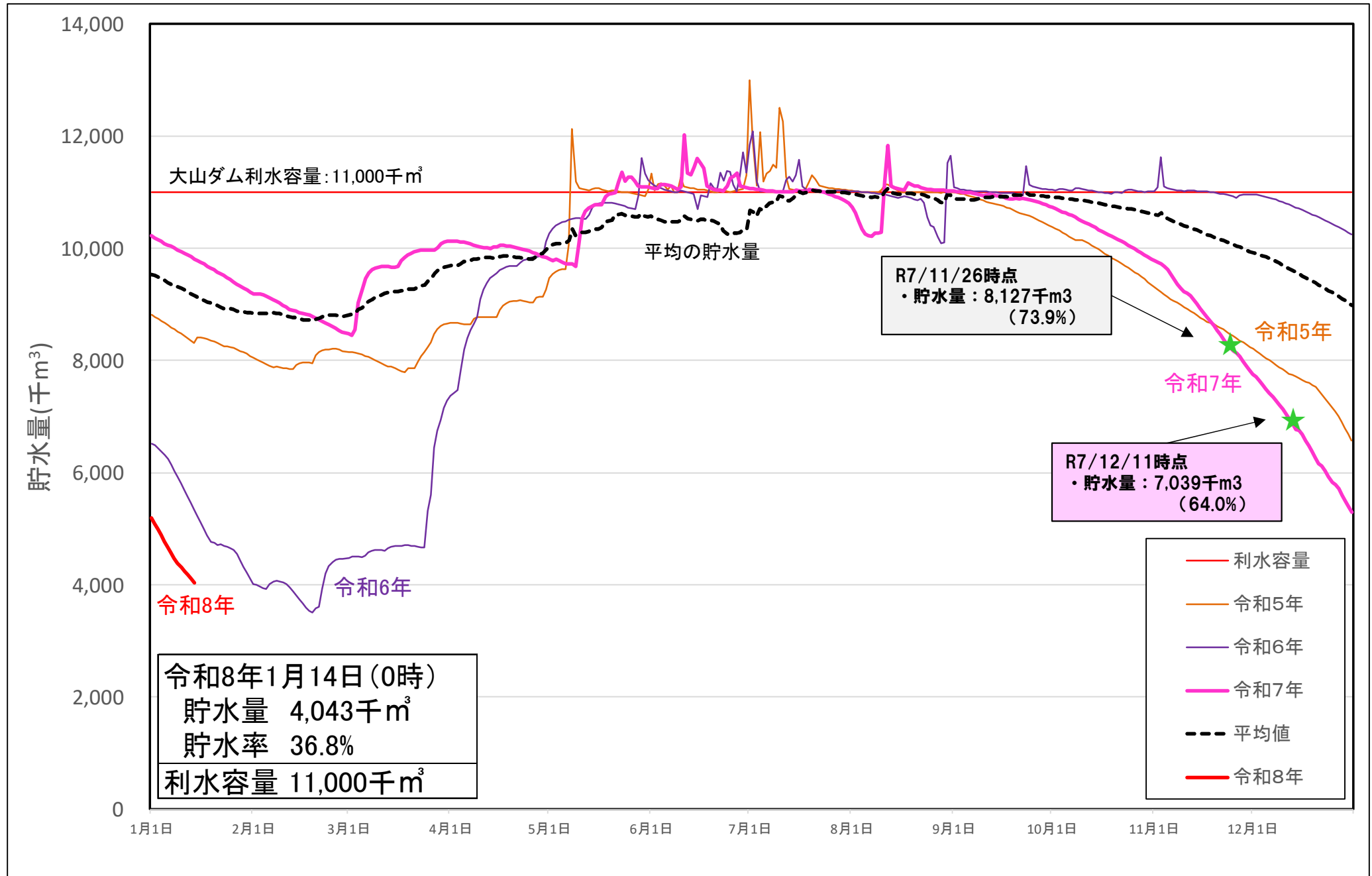


# 合所ダム貯水量



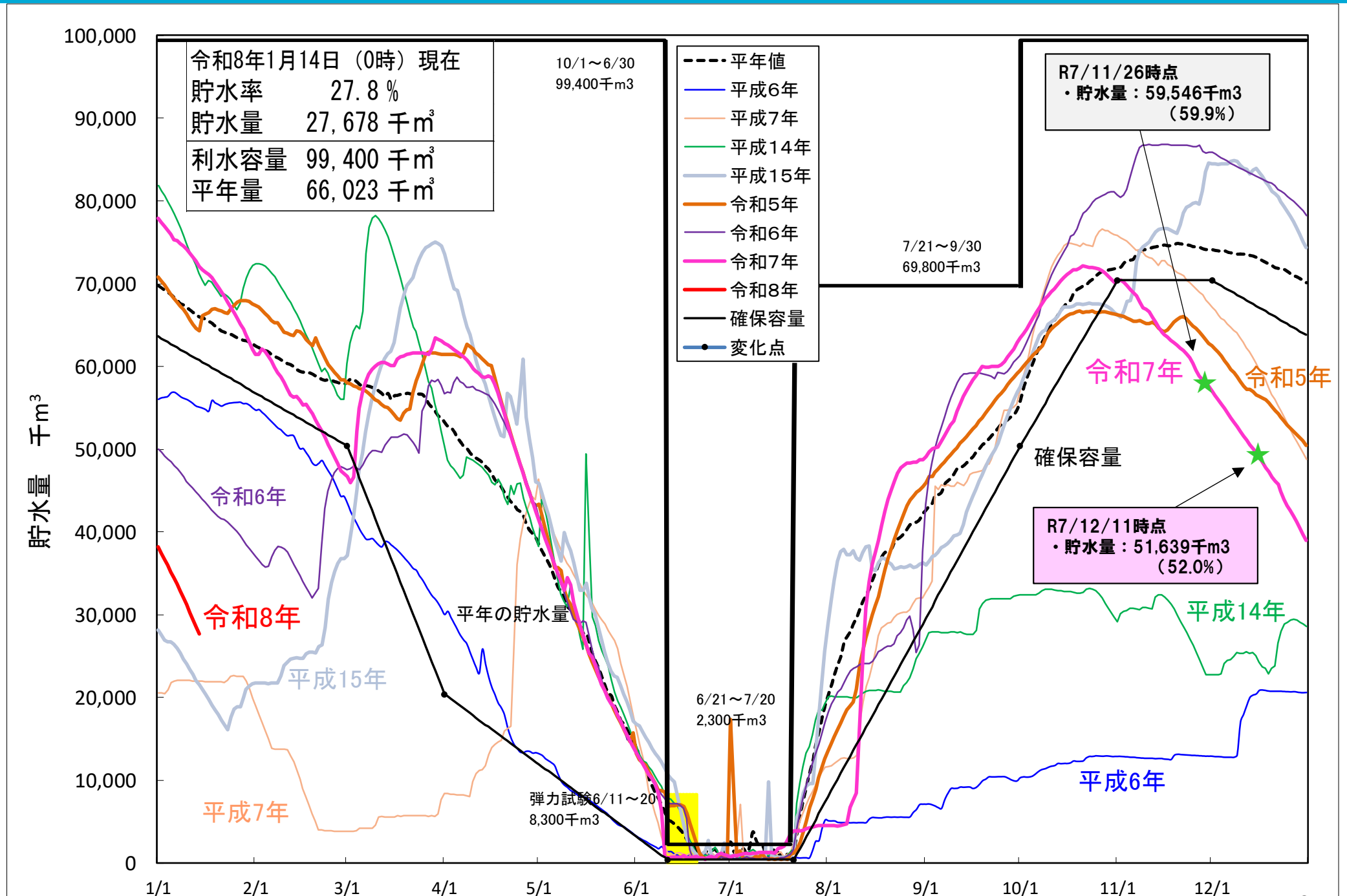


# 大山ダム貯水量



※平均の貯水量は、10か年 (H27~R6) の平均の値

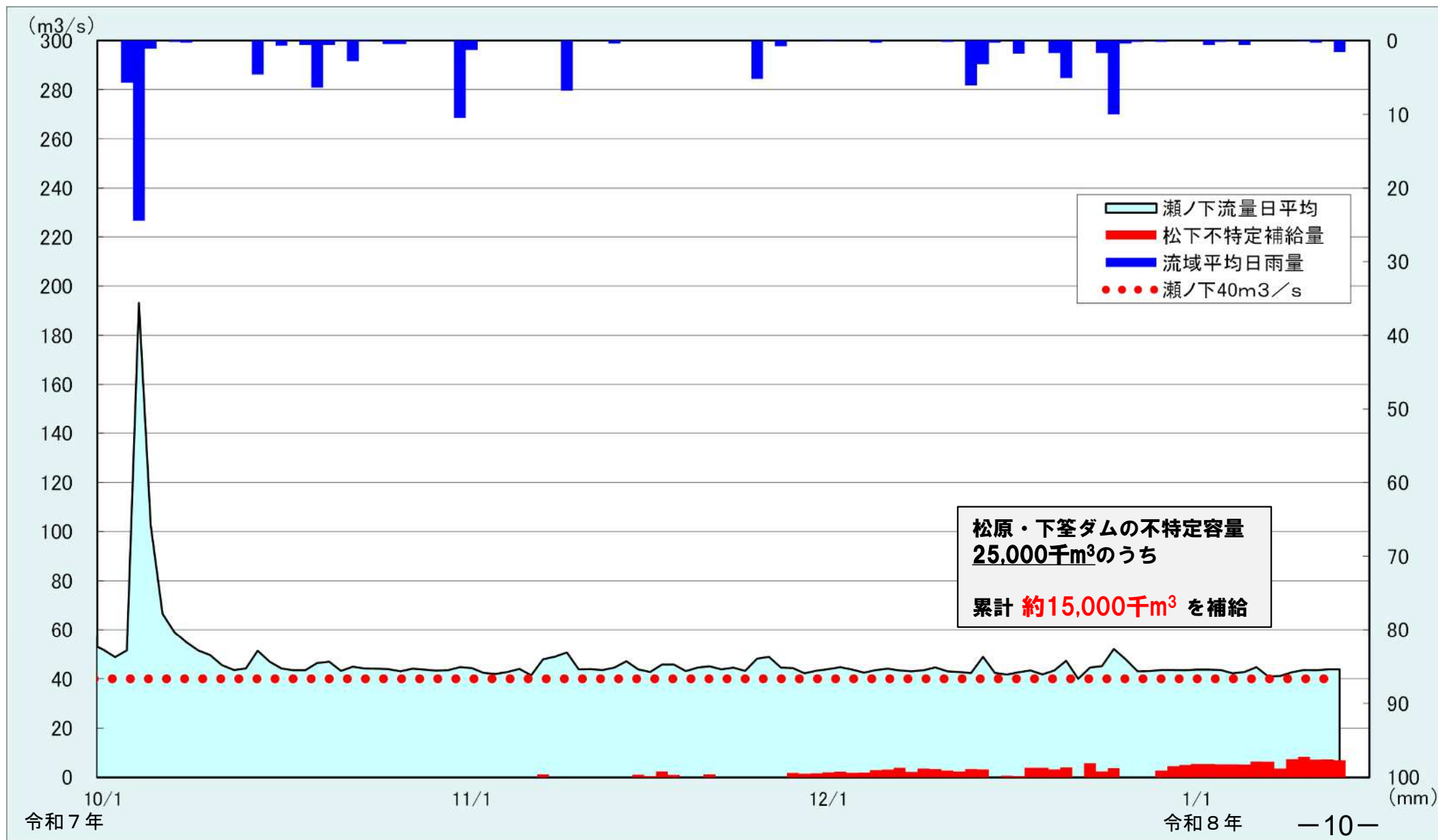
# 松原・下笠ダム貯水量経年変化図



※平年値は、1991~2020年(30年間)の平均値

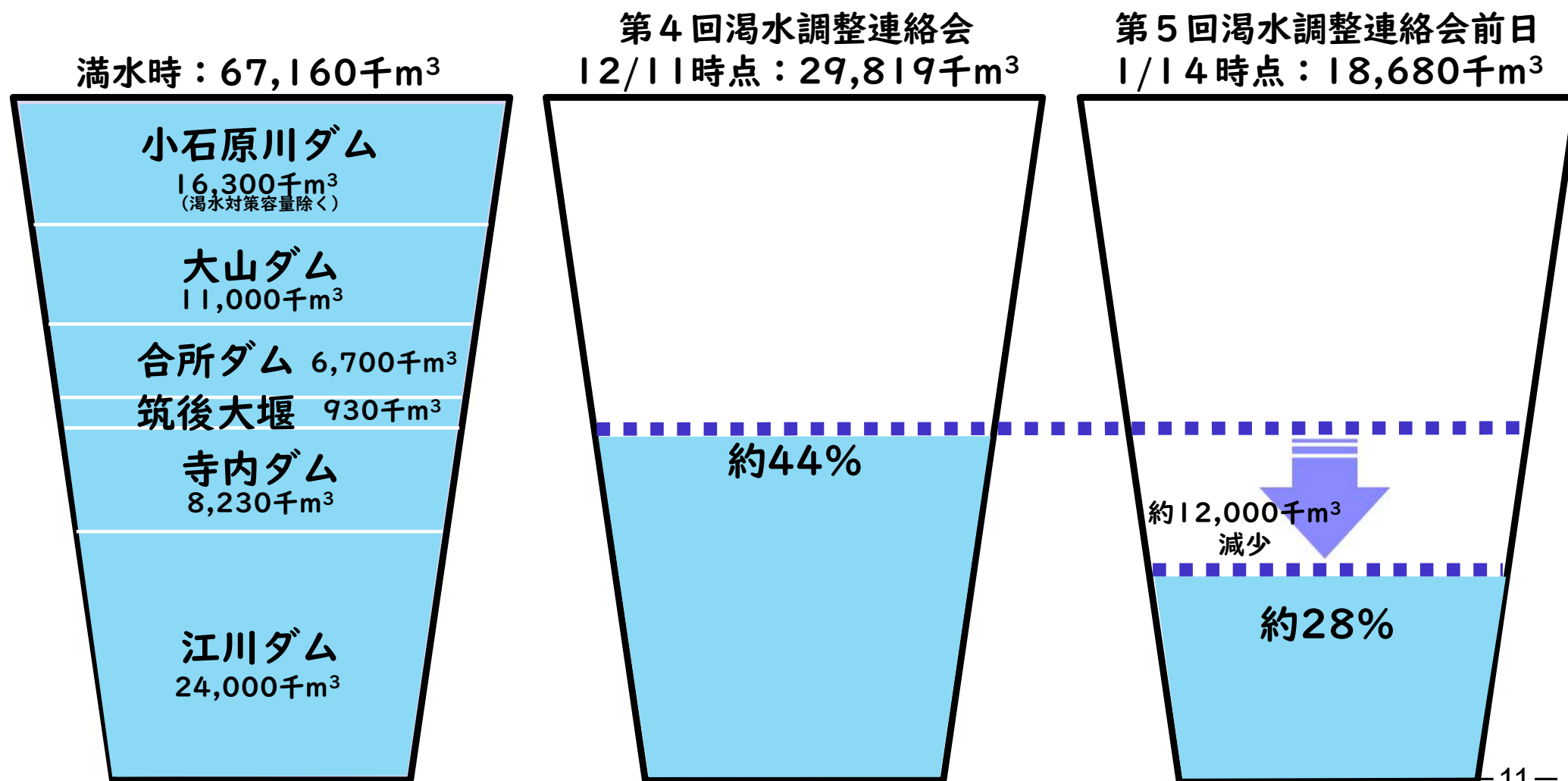
## 瀬ノ下日平均流量・不特定補給

○ 令和7年10月上旬の降雨以来、少雨傾向が続いていることから瀬ノ下地点向けの不特定補給を行い、40m<sup>3</sup>/sの流量を確保している。



# 筑後川の水源の状況

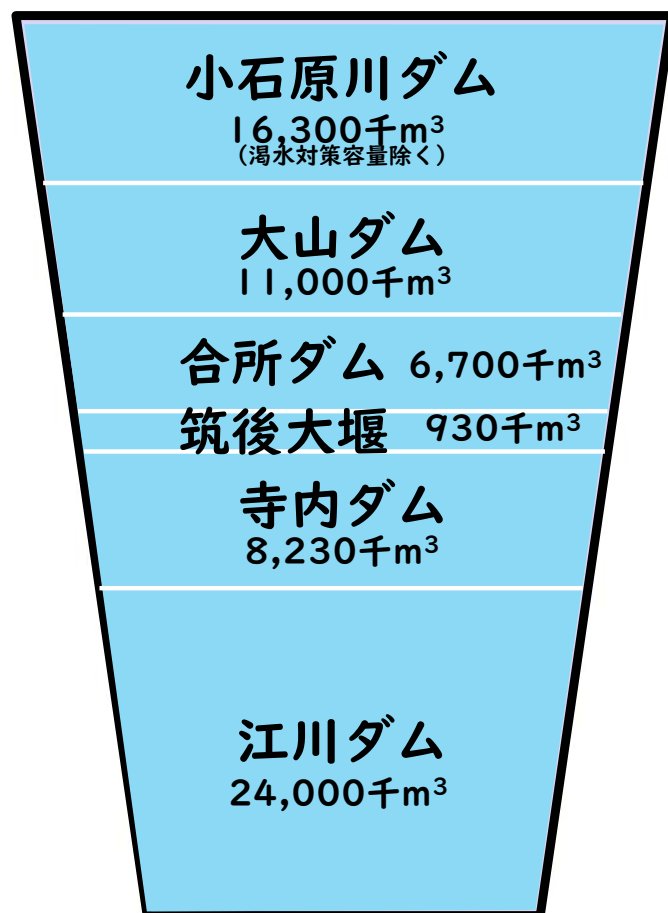
- ダムの完成や渇水調整などにより、平成6年渇水以降は断水など市民生活・社会経済活動への影響は回避。（直近の冬季渇水は令和5年度）
- 現在の筑後川主要6施設合計貯水量は、直近3ヶ月の少雨により満水時に対し30%を下回り、その水量は江川ダムの貯留可能量以下まで減少。
- 後述する今後の天候や流域の水源状況からも、警戒感が高まってきている。



# 筑後川の水利利用の状況

○ 筑後川水系の主要6施設の利水容量（農業用水・都市用水・不特定用水）は、67,160千 $m^3$ であり、関係利水者は多岐にわたり広域的な水瓶の役割を担っている。

筑後川流域の主要6施設の合計：67,160千 $m^3$



## 6施設参画利水者

○ 都市用水 (31,020千 $m^3$ )

- ・ 福岡市
- ・ 朝倉市
- ・ うきは市
- ・ 鳥栖市
- ・ 福岡地区水道企業団
- ・ 福岡県南広域水道企業団
- ・ 佐賀東部水道企業団

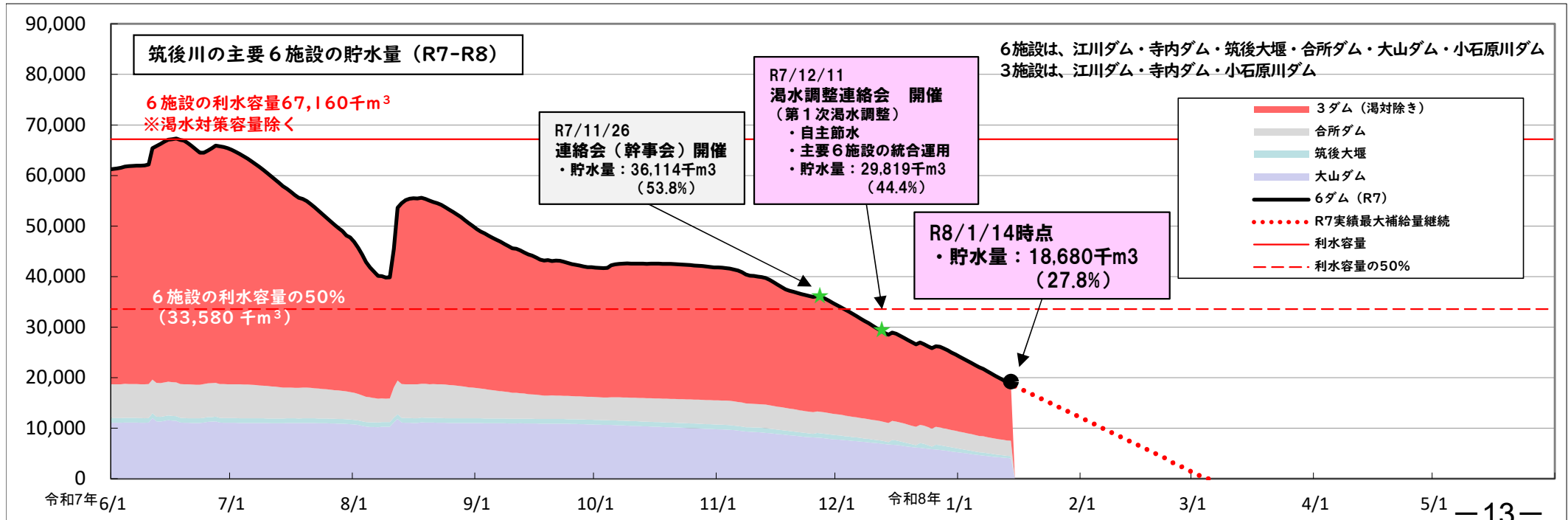
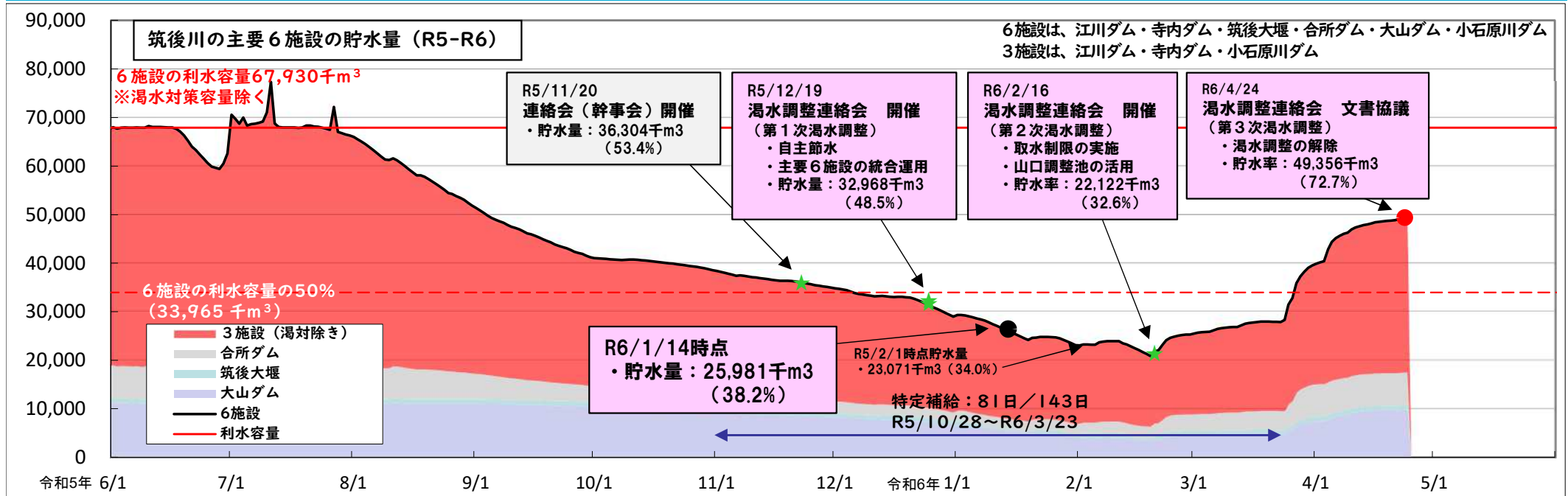
○ 農業用水 (19,040千 $m^3$ )

- ・ 両筑平野用水 (朝倉3ダム)
- ・ 耳納山麓地区用水 (合所ダム)

○ 不特定用水 (17,100千 $m^3$ )

- ・ 朝倉3ダム (12,400千 $m^3$ )
- ・ 大山ダム (4,700千 $m^3$ )

# 6ダム（江川・寺内・小石原川・大堰・合所・大山）貯水量変化図





# 今後の天候の見通し（1か月・3か月予報福岡管区气象台予報より）

## ■向こう1か月の天候の見通し

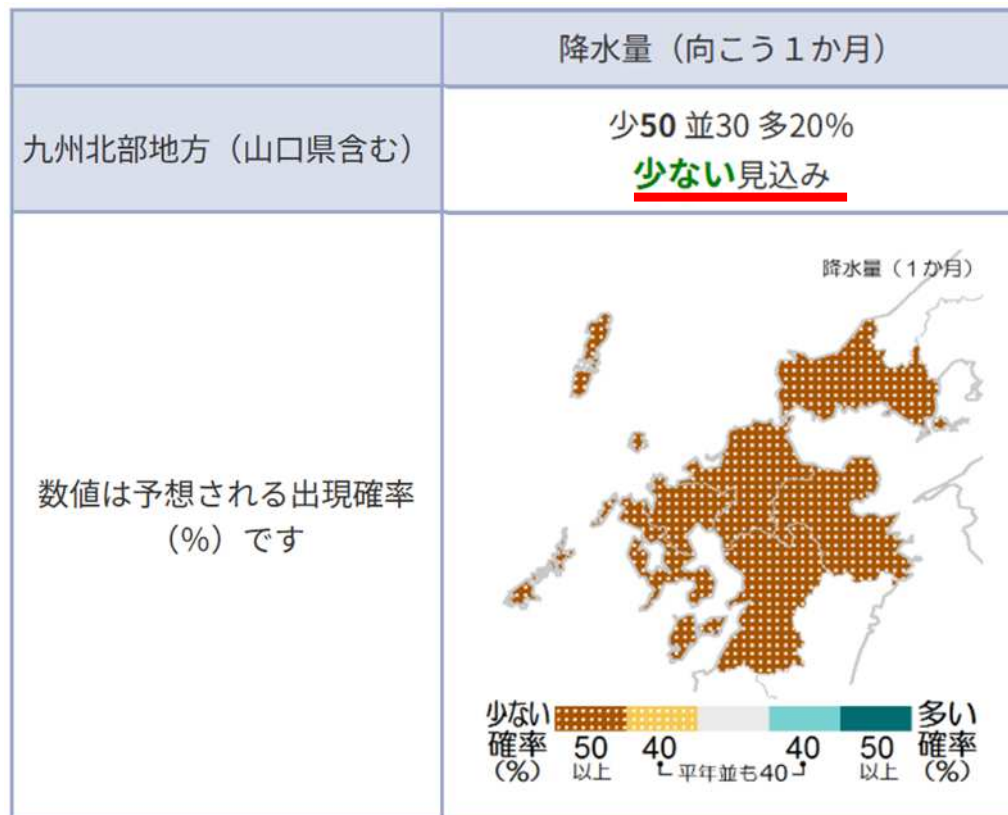
九州北部地方（山口県含む）（1/10～2/9）

### 予報のポイント

- 寒気の影響を受けにくい時期があるため、向こう1か月の気温は高いでしょう。
- 低気圧の影響を受けにくいため、向こう1か月の降水量は少なく、日照時間は平年並か多いでしょう。特に、期間のはじめは降水量の少ない状態が続く見込みです。

### 向こう1か月の天候

- 平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。



## ■向こう3か月の天候の見通し

九州北部地方（山口県含む）（1月～3月）

### 予報のポイント

- 向こう3か月の降水量は、冬を中心に低気圧の影響を受けにくいため、少ないでしょう。

